

# 1 中小企業活性化会議の概要

- ・ 熊本市中小企業・小規模企業振興基本条例の第11条に基づく市長の附属機関
- ・ 市長の諮問に応じ、中小企業の振興に関する施策等を審議するもので、16人以内の委員で構成する会議を年2回開催

# 2 審議の経過

## (1) 会議の開催概要

### ① 第1回会議

【開催日】 令和7年(2025年)7月2日

【議事内容】 本市経済成長に向けた今後の取組、中小企業振興施策等について

### ② 第2回会議

【開催日】 令和7年(2025年)8月20日

【議事内容】 第1回会議のご意見等を踏まえた今後の方向性について

## (2) 各委員からの主な意見

### 「創業・事業承継の促進」 関連

- ・ 適切なメンター・アドバイザーとのマッチング支援が必要である。
- ・ 若者の起業の発展につなげるため、市でのイベント開催に加え、他県や海外で開催されるビジネスコンテストへの参加に対する支援が必要である。
- ・ 事業承継は長い準備期間・総合的な引継ぎが必要であるため、長期的な相談などをカバーする支援が必要である。

### 「新たな事業活動の促進」 関連

- ・ ITスキルや情報ノウハウを持った若者を雇用するためには、受入側がITスキルやDX化について勉強することが大事である。
- ・ 台湾からの観光客リピーターは多いものの、今後は更にアジア観光客の確保が必要である。
- ・ 公共交通機関の多言語対応を充実させる必要がある。
- ・ インバウンドだけでなく、文化資源を活用した国内の観光客向けの情報発信にも取り組むべきである。
- ・ 越境ECサイトで海外販路を開拓するためには、自社ECサイトの構築に加え、信頼性の高い海外の大手通信販売業者との連携が重要である。

### 「経営基盤の強化」 関連

- ・ 外国人労働者は賃金の高い都会へ転出する傾向が強いことから、熊本に愛着を持ってもらう取組や、都会との生活コストを比較した可処分所得について周知するなど、定着を促す支援が必要である。
- ・ 優秀な人材の定着のために、民間と行政が相互に協力しながら支援を進めてほしい。

### その他

- ・ 現状の把握や方向性の検討にはデータの活用が重要であるため、県内の中小企業にデータ分析いただくなどデータ取得のための補助制度を検討してほしい。
- ・ 最低賃金の上昇により、中小企業の経営は厳しくなるため、融資を含めた支援が必要である。

# 3 今後のスケジュール

10月	会長から市長に対し答申
令和7年 第四回定例会	審議結果及び中小企業の振興に関する施策の実施状況を報告【議案】
令和8年 第一回定例会	審議結果等を踏まえた令和8年度当初予算事業を報告【予算決算委員会・経済分科会】